



枕崎市

市議会だより

2023

12

月号

No.323



立神岩の落日：市内在住の中崎篤さん撮影

主な記事 ~contents~

- ▶ 委員会審査の概要……………2P
- ▶ 議案と結果(第4回定例会)……………6P
- ▶ 一般質問 平田議員……………7P
真茅議員、立石議員……………8P
橋口議員、豊留議員……………9P
禰占議員……………10P
- ▶ 編集後記

発行 ● 枕崎市議会

編集 ● 枕崎市議会報調査特別委員会
〒898-8501 枕崎市千代田町27番地
TEL.0993-72-1111

9月定例会の日程

9/8
(金)

本会議【開会】

提案理由の説明、質疑
議案を各委員会へ付託
提案理由の説明(人事案件)
質疑、討論、表決

9/11・12
(月・火)

【本会議】一般質問

議員6名が市政全般について
質問

委員会審査

本会議でそれぞれ付託された
議案を各常任委員会・特別委
員会で審査

- 常任委員会
 - 【9/13(水)】総務文教委員会
 - 【9/14(木)】産業厚生委員会
- 特別委員会
 - 【9/15(金)】予算特別委員会
 - 【9/19(火)~9/21(木)】
決算特別委員会

9/27
(水)

【本会議】

各常任委員会の委員長報告
予算特別委員会の委員長報告
質疑・討論・表決

10/5
(木)

本会議【閉会】

決算特別委員会の委員長報告
質疑・討論・表決
補正予算の追加上程
提案理由の説明
質疑・討論・表決

令和5年 第4回定例会

会期：令和5年9月8日～
10月5日

令和4年度 枕崎市一般会計歳入歳出 決算など認定事項7件を認定

令和5年第4回定例会は、9月8日から10月5日までの28日間
の会期で開かれました。

この定例会では、補正予算6件、条例関係議案1件、人事案件2
件、決算7件、規約の変更2件などについて審査を行い、11日・12日
の本会議では、6名の議員が一般質問を行いました。

定例会で審査した案件

予算関係議案	6件
条例制定・改正	1件
人事案件	2件
認定事項(決算)	7件
その他	2件

委員会審査の概要

総務文教 委員会

○議案第58号

枕崎市学校教育施設整備基金条例の制定について

そのため、枕崎市学校教育施設整備基金を設置しようとするものです。

本件は、平成26年3月に閉校した旧金山小学校の一部を令和5年度から民間事業者へ有償で貸与するに当たり、財産処分の手続後、文部科学省から通知される「公立学校施設整備費補助金等に係る財産処分の承認書」に基づき、国庫に納付することとなる補助金相当額以上を基金として積み立てる必要があることから、本市の学校教育施設の整備に要する経費の財源に充て

問 旧金山小学校校舎の財産処分手続にかか

る文部科学省への申請

は令和5年2月17日付

で行われ、同年6月9日

付で承認されているが、

旧金山小学校を利用す

る企業との市有財産賃

貸借契約は文部科学省

からの承認を得る前の

令和5年4月1日から契

約が締結されていること

要な書類については、貸付額など工事の完了を待たなければ確定できないものもあることから、申請の遅れにより承認を受ける前に貸付契約を行うことについて県に

相談したところ、申請に

遅延が生じた理由を付

加して申請することで、

貸付には問題ないという

確認が取れたことから、

そのような申請手続とな

った。

委員からの要望

今回整備された基金については、本市の教育振興上においていろいろな面で有意義に活用していくよう要望がありました。

○議案第60号

鹿児島県市町村総合

事務組合を組織する

地方公共団体の名称

の変更及び同組合規

約の変更について

○議案第59号

南薩地区衛生管理組

合規約の変更について

産業厚生 委員会

本件は、南薩地区衛生管理組合が、共同処理

するごみ処理施設の設

置及び管理運営に関す

る事務に係る市の区域

を変更することに伴い、

同組合規約を変更する

ことについて、関係地方

公共団体と協議するた

めに、地方自治法第

286条第1項及び第

290条の規定により

用開始することに伴い、日置市が共同処理する事務の「ごみ処理施設の設置及び管理運営に関すること。」に加入することにより、規約の一部

変更を行うものです。

問 今まで本市議会で

も指摘している新クリ

ンセンターの運営費負担

金割合の公平性について、

どのように考えているのか。

答 現在、新クリンセ

ンターの負担金割合は、

均等割3、実績割7と決

まっており、実績割につい

ては、前々年度の搬入実

績で負担金を計算する

ようになっているが、供

数を増やして、一人一人のコストを削減することであると考えるので、均等割の部分を、地域全体の人口合計数で応分に割る人口割を採用すべきであるとこれまでも協議会等で主張しており、負担金の見直しについて申入れを行っているが、協議までに至っていない。

委員からの要望

ふるさと納税関係事業費に関連して、返礼品の発送やふるさと便を出す場合に、例えば、枕崎市のふるさと納税返礼品といったように、その地域全体で段ボールを統一している市町村もある。

○議案第54号
令和5年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ1億947万6000円を追加し、予算総額を33億5662万6000円にしようとするもので、当初予算額より0.6%の伸びとなります。

○議案第56号
令和5年度枕崎市介護保険特別会計補正予算(第一号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ2億8202万8000円を追加し、予算総額を32億7558万8000円にしようとするものです。

委員からの要望

0円に対し、総費用7億6962万8000円となり、差引き1億4127万9000円の純損失となる見込みです。

市立病院は、経営評価委員に経営の評価をお願いしており、収益の状況や決算の状況等を報告し、アドバイスを受けているということだが、まず大事なことは働く場の実態がどうかというのを委員に知っていただく上で、経営の安定化や強化にかかる意見を仰いでいただきたい。

予算特別委員会

■予算特別委員会の審査の詳細は、ホームページに予算特別委員会記録を掲載していますので、御覧ください。

○議案第53号

令和5年度枕崎市一般会計補正予算(第4号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ5億3250

万円を追加し、予算総額を165億9890万円にしようとするもので、当初予算額より5.4%の伸びとなります。

地方債の補正は、補助災害復旧事業の追加及び過疎対策事業ほか一事業の変更によるものです。

補正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、低所得世帯支援給付金給付事業など4事業、令和4年度決算剰余金の財政調整基金及び減債基金への積立て、ふるさと納税返礼事業、ふるさと応援基金積立金、生活保護費など令和4年度の事業費確定に伴う国県支出金等精算返納金、降灰防止・降灰除去施設等整備事業補助などです。

また、運賃コストにしても、それぞれの返礼事業者が個々の運送業者に委託するのではなく、市がリーダーシップを執ることにより、返礼事業者の立場となって考えていくことでコスト削減につながっていくのではないかと。そういったところまで踏み込んで、市が音頭をとって返礼事業者と一緒にふるさと納税を盛り上げていきたい。

○議案第55号
令和5年度枕崎市後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ329万円を追加し、予算総額を3億9302万9000円にしようとするもので、当初予算額より0.8%の伸びとなります。

今回の補正は、収益的支出において、給与費の減に伴い、医業費用を606万円減額するほか、過年度損益修正損として特別損失を274万9000円追加しようとするものです。

補正後の収支は、総収益6億2834万900

降灰防止・降灰除去施設等整備事業補助など

今回の補正は、歳入歳出それぞれ329万円を追加し、予算総額を3億9302万9000円にしようとするもので、当初予算額より0.8%の伸びとなります。

補正後の収支は、総収益6億2834万900

決算特別委員会

令和4年度の決算を認定

認定事項第1号 令和4年度一般会計歳入歳出決算

歳入総額は158億3,553万1,000円で、前年度に比べ13億6,650万1,000円の減、率にして7.9%の減となっています。

歳出総額は150億4,366万9,000円で、前年度に比べ14億656万8,000円の減、率にして8.6%の減となっています。

歳入・歳出とも、前年度を大きく下回った要因としては、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業や新型コロナウイルスワクチン接種事業のほか、ふるさと応援寄附金の減に伴うふるさと納税返礼事業とふるさと応援基金積立金が減少したことが大きく影響しています。

なお、新型コロナウイルス感染症対策関連事業につきましては、総額で9億8,730万円となっており、歳出総額の約6.6%を占めています。

令和4年度の事業成果を確認

火之神地区土地取得事業

事業費 3,262万7,000円



谷原団地建替事業

事業費 2,987万1,000円



旧招魂塚幼稚園解体工事

事業費 902万円



国光公園トイレ改築工事

事業費 1,584万円



その他の現地確認事項

立神北公園トイレ改修工事

事業費 1,866万8,000円

地域課題解決のためのICT拠点
整備事業(旧金山小学校)

事業費 4,596万6,000円

市民会館改修事業

事業費 7,210万5,000円

決算特別委員会で審査した認定事項

■決算特別委員会の審査の詳細は、ホームページに決算特別委員会記録を掲載していますので、御覧ください。

一般会計

◎認定事項第1号 令和4年度枕崎市一般会計歳入歳出決算 認定

要望 交通弱者対策事業について、給付額は1年間に7,200円となっているため1か月で無くなる方もいる。はり、きゅう、マッサージは1年間に2万8,000円を助成しているが、生活に必要な病院や買物に対する交通弱者対策事業への給付金額は、そういう方々と4分の1ぐらいの差がある。

さらに、本年8月からタクシーの初乗り代金も700円となり、金銭的に困っている方々は苦勞していると思うので、来年度予算では増額について強く要望する。

要望 給食費の無償化について、南さつま市や南九州市は既に取り組んでいる。財政調整基金が令和4年度末で23億円程度の現在高となっており、給食費の無償化にかかる費用が五、六千万円で済むのであれば、その費用の全額ではなくとも、半額程度を子育てに充てるという方針はないのか。

人口減と子育ては喫緊の課題なので、庁内でもいい考えを積み上げるよう要望する。

令和4年度 一般会計・特別会計決算状況

単位：円

会計名	歳入	歳出	
一般会計	15,835,531,151	15,043,669,069	
特別会計	国民健康保険	3,395,316,477	3,387,194,691
	後期高齢者医療	383,261,430	379,972,766
	介護保険	2,935,035,148	2,653,005,955
合計	22,549,144,206	21,463,842,481	

特別会計

◎認定事項第2号 令和4年度枕崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算 認定

要望 本市市長は鹿児島県国民健康保険団体連合会理事長の役職に就いており、発言権も非常にあると思う。国保財政運営の安定化や子供にかかる国保税均等割の件などについて、積極的に意見や要望を取りまとめて、全国市長会等へ提出していただくよう要望する。

◎認定事項第3号 令和4年度枕崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 認定

◎認定事項第4号 令和4年度枕崎市介護保険特別会計歳入歳出決算 認定

要望 認知症総合支援事業の認知症初期集中支援チームについて、市民の中には認知症の相談先についてどこに相談すればいいのかわからない方も少なくない。そのような方々に対する周知・広報活動を引き続きお願いしたい。

令和4年度 公営企業会計決算状況

単位：円

公営企業会計名	収入	支出	
病院事業	収益的	757,653,124	691,309,941
	資本的	12,587,000	29,998,197
水道事業	収益的	439,810,832	382,137,704
	資本的	76,733,000	317,928,648
公共下水道事業	収益的	763,088,482	699,724,594
	資本的	73,617,160	351,946,837

◎認定事項第5号 枕崎市立病院事業決算 認定

◎認定事項第6号 枕崎市水道事業決算 認定

◎認定事項第7号

令和4年度枕崎市公共下水道事業決算 認定

要望 下水道料金の改定については、市民に対して丁寧な説明を行い、下水道事業を長期的に経営していく上で適正な料金設定となることを理解していただけるように努力してほしい。

議案と結果

令和5年第4回定例会

(全会一致で議決された案件)

議案番号	議案名等	議決結果
第53号	令和5年度枕崎市一般会計補正予算(第4号)	可決
第54号	令和5年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
第55号	令和5年度枕崎市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
第56号	令和5年度枕崎市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
第57号	令和5年度枕崎市立病院事業会計補正予算(第1号)	可決
第58号	枕崎市学校教育施設整備基金条例の制定について	可決
第59号	南薩地区衛生管理組合規約の変更について	可決
第60号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の変更及び同組合規約の変更について	可決
第61号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
第62号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
第63号	令和5年度枕崎市一般会計補正予算(第5号)	可決
認定事項第1号	令和4年度枕崎市一般会計歳入歳出決算	認定
認定事項第5号中	令和4年度枕崎市立病院事業剰余金処分計算書	可決
認定事項第6号中	令和4年度枕崎市水道事業剰余金処分計算書	可決
認定事項第6号	令和4年度枕崎市水道事業決算	認定
認定事項第7号中	令和4年度枕崎市公共下水道事業剰余金処分計算書	可決
認定事項第7号	令和4年度枕崎市公共下水道事業決算	認定

(賛否が分かれた案件)

※賛成は○、反対は●、欠席は欠、除斥は除、退席は退、一は議長のため表決していない。

議案番号	議案名等	議決結果	議員名(議席順)											
			永野慶一郎	下竹芳郎	辻本貴志	上迫正幸	水野正子	立石幸徳	豊留榮子	眞茅弘美	禰占通男	平田るり子	橋口洋一	吉嶺周作
認定事項第2号	令和4年度枕崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
認定事項第3号	令和4年度枕崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
認定事項第4号	令和4年度枕崎市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
認定事項第5号	令和4年度枕崎市立病院事業決算	認定	—	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	○

認定事項第2号～第5号についてそれぞれ反対討論がありました。

一般質問

原則として定例会本会議の第2日から行われ、質問時間は、市当局の答弁を含めて1時間以内としています。

これまでも、一般質問を行うことで行政の施策に対して多くの提言がなされました。各議員が議会活動の中で最も力を入れている部分です。

◆1日目(9月11日)

- 平田るり子 議員 「少子化人口減少対策の提案について」……7P
- 眞茅 弘美 議員 「農作業の効率化・安全性を高めるための道路補修について」……8P
- 立石 幸徳 議員 「公共下水道事業の経営健全化について」……8P
- 橋口 洋一 議員 「ふるさと納税に関する対応について」……9P

◆2日目(9月12日)

- 豊留 榮子 議員 「介護保険制度の充実について」……9P
- 禰占 通男 議員 「小中連携教育について」……10P



少子化人口減少対策の提案について
平田るり子議員



問 少子高齢化による人口減少社会の到来により、これまで経験したことのない厳しい世の中が訪れ、社会や経済の在り方、地域で受けられるサービス、インフラ、産業の持続も厳しくなるといわれている。どのような政策で市長としての責任を担っていくのか。

て、多岐にわたる施策に取り組むとしている。本市においても、子ども・子育て施策を最も重要な課題と位置づけ、全庁的な取組を進めており、的確な支援を実施していきたい。

答 少子化は、国の予測を10年超早いペースで進んでいる。このまま少子化が続くと、人口の年齢構成において若年層の比率が低くなり、生産年齢人口の減少につながり、社会の支え手が減少すること、経済社会の活力や地域社会の維持が難しくなることから、国は少子化を国の存続そのものに関わる社会全体の問題と捉え、少子化傾向を反転させるとし

目的は、未来を担っていく若者に、今、私たちは何をすべきかを市民一体で考えるところにある。国の直轄事業など町を支えて持続させる一つの選択として、また、市民全体で決められる、風評被害も出していない国策事業地層処分の文献調査を受け入れ、未来世代が判断できる選択肢を残してあげてはどうか。

答 本市の場合は、製造業等の産業競争力を背景にした税収等で財源確保を図り市政運営を進めている。これは将来の本市の強みとして磨いていく必要がある。

調査による補助金を得た後、最終的な事業を導入する、しないは将来世代にどのような考えのようだが、そのような重い判断を将来世代にさせることは、私の考えの中にはない。

一番の経済対策は、人口を増やすことである。施策・予算がないのなら、探してくるのも政治家の役目である。私の提案の



農作業の効率化・安全性を高めるための道路補修について

眞茅 弘美 議員



問 畑かん区域の一部では舗装されていない道路や砂利道が点在している。舗装されていない道路の整備はできないのか。

答 畑かん地区の農道整備については、地元負担の軽減を考慮し、事業化に向けて県へ要望中である。

また、各公民館への原材料支給については、年次の計画を立てて実施している。

不登校の児童・生徒の支援について

問 教育支援センターは、国が市町村に対し社会参加を目指すためにも、学校以外の場での学習等に対する支援ということとで推進している。

不登校の児童・生徒、またその家族だけで悩

まず、安心して登校できる教育支援センターを設置していただけないか。

答 不登校児童・生徒が主体的に社会的自立や学校復帰に向かう適切な支援や働きかけが必要であると考えている。

本市のニーズや近隣市の設置状況等を参考に調査研究していきたい。



問 子どもの成長に待たはなりません。学校に行きづらいう子供たちが安心して通える場所の提供を急いで取り組んでいただきたいがどうか。

答 教育相談体制の整備や指導者の確保、学習支援の在り方や支援内容の調査研究・活動場所の確保などを整備していく必要があるため、しばらく時間が必要である。

ふるさと納税返礼事業について

問 年末にかけて寄附額を上げる努力・対策を急いで取り組むべきでないか。他の自治体も寄付額を増やすためにしのぎを削ってくるため、同じ努力では難しい。

例えばバナー広告に大きく予算をかけるべきだと思いがどうか。

答 各ポータルサイトの管理画面においては、広告の効果を検証できるシステムが構築されているので、詳細にデータを分析しながら時期等も踏まえ有効な施策を講じていきたい。



公共下水道事業経営の健全化について

立石 幸徳 議員



問 本市の下水道事業は、下水道使用料で賄うべき処理費用が約2億円の財源不足となっている。一般会計補助金に対する見解は。

答 一般会計からの運営補助で補った経営状況であるが、経費削減を図り、さらに厳しくなる経営状況に対応するため、使用料改定に向けた検討を進めていく。

本来、下水道事業は自立性を持って、独立採算制の原則が適用されている。

問 終末処理場の悪臭対策は、どのように進んでいるのか。

答 当初完了予定の令和5年度末から令和6年度末に完成が遅れる。

人手不足対策について

問 人手不足問題は、現在、入り口であり、これらが深刻になる。本市地場産業の人手不足の実態と外国人材への対応について伺いたい。

答 水産業では、外国人を含めた全乗組員の定着率向上のため、労務・居住環境の整備が進められている。水産加工業では省力化、省人化を図り、生産性向上により人材不足を克服。農業面でも農業機械の大型化、高性能化による対策について支援事業を導入している。

小学校・中学校の学力向上対策

問 本市教育行政要覧にある「枕崎の授業づくり

スリーポイント」とは何か。また、本市の場合、家庭学習についてはどういった取組をしているのか。

答 学校と家庭が連携した家庭学習について、教育委員会では、まぐらぎ家庭教育手帳を各家庭に配布。家庭学習40・60・90・120運動、メディア午後9時オフを設定。授業づくりスリーポイントは、①課題意識を持たせる目的の明確化、②学習課題の自力解決やペア・グループ活動を取り入れた子供が主役となる学び、③授業の終末におけるまとめを活かしたラスト10分の充実である。





ふるさと納税に関する対応について

橋口 洋一 議員



問 本年度のふるさと納税の申込み状況は。

答 8月末で寄附件数1万件弱、寄附額2億3000万円弱。今年度、寄附件数6万6700件、寄附額20億円を目指し、寄附が多くなる年末にかけて取組を進めている。

問 10月以降の中間管理業務について

答 既存の大手ポータルサイト利用料の範囲内で、寄附情報管理、返礼品の配送管理、返礼品協力事業者への対応、精算対応などの中間管理業務を一括で代行するプランを採用した。

問 規模拡大を目指す大手ポータルサイト運営会社に追加手数料無料で取り込まれているのではないか。

答 返礼品率を3割近くに設定し、競争力を高めるために同プランを採用した。委託の方向性については、毎年度効果を検証しながら判断していく。

問 南薩方面に運営委託会社から担当者の配置はあるのか。

答 鹿児島県担当として行政担当2名、返礼品協力事業者担当3名が配置される予定。

問 市と返礼品協力事業者連絡協議会との連携状況は。

答 市として、返礼品協力事業者の相互理解と連携の重要性は承知しており、さらに事業推進が図られるよう取り組んでいきたい。

核のこみについて

問 令和2年の県議会において、塩田知事は「本県において高レベル放射性廃棄物の最終処分場を受け入れる考えはない」との考えを既に表明しているところだが、先の本市議会の一般質問において、原子力発電環境整備機構NUMO（ニューモ）の事業を受け入れることで本市に多額の交付金が入るといような発言があった。

市民の分断をもたらしかねない高レベル放射性廃棄物の最終処分場の受入れや誘致について市長の見解を問う。

答 本市では、本市の強みである農林水産業、水産加工業をはじめとした製造業など産業競争力を磨き、ふるさと納税事業を含めた税収等による財源確保を図り、市政運営を進めることとしており、原子力発電環境整備機構NUMO（ニューモ）の事業を本市で取り組む考えは全くない。



介護保険制度の充実について

豊留 榮子 議員



介護保険制度は、高齢化や核家族化が進む中で介護職場からの離職問題などを含みながら、介護を社会全体で支えることを目指して2000年に創設され23年になる。政府が提案した介護ケアプランの有料化や要介護1、2のサービス保険給付は、ずしなどが、反対する世論の広がり一応先送りになったというが、今後どのような対応をされるのか本市の見解を。

問 介護保険制度は、高齢化や核家族化が進む中で介護職場からの離職問題などを含みながら、介護を社会全体で支えることを目指して2000年に創設され23年になる。政府が提案した介護ケアプランの有料化や要介護1、2のサービス保険給付は、ずしなどが、反対する世論の広がり一応先送りになったというが、今後どのような対応をされるのか本市の見解を。

答 ケアプランの有料化、生活援助サービスの地域支援事業への移行のいずれにしても、第10期計画期間の開始、令和9年度までに結論を得るとし、先送りされる見込みとなつている。今後とも本市としては、国の動向等に注視していく。

問 本市独自の社会保障費を大幅に増やして、必要な時に必要な介護が保障されるようにすべきではないか。

答 介護保険法第1条では、法律の目的として、要介護状態となり介護が必要な者等に必要サービス給付を行うため、介護保険制度を設け、国民の保険医療の向上及び福祉の増進を図るとしている。

介護保険法の目的意識を常に持ちながら、本市が保険者として何ができるかという点を研究してまいりたい。

問 令和3年に訪問介護事業所1か所、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）1か所が廃止。従業員の確保ができないことが大きな原因と聞いている。

増えた事業所は、令和3年に特別養護老人ホーム1か所、今年3月には認知症対応型共同生活介護グループホーム1か所、8月には看護小規模多機能型居宅介護事業所1か所が開所。

人材不足が課題となり、それぞれの事業所が対応に苦慮され、介護従事者の処遇についても介護報酬が大きく影響されるものと考えられる。

その他質問事項

ふるさと納税について

問 本市における介護施設や介護従事者の現状など把握されているのか。



小中連携教育について

補占 通男 議員



問 小中連携教育の現状はどうなっているのか。

答 一小一中のよさを生かした小中連携教育を推進し、各学区の実態に応じた特色ある教育活動を展開している。各学区の実態に応じた特色ある教育活動の展開、小中合同研修会や相互乗り入れ授業の実践の取組を進めている。

問 なぜ一貫から連携に変わり、その経緯はどうなったのか。

答 改正学校教育法が平成28年4月に施行され、義務教育学校の形態が新設され、従来の小中一貫教育の定義づけが変わり変更された。

問 連携、一貫教育は、中一ギャップに直面することに対する対策だと思

うが、どうなっているのか。

答 中学校への滑らかな接続、教職員の情報共有の連携、生徒指導や学力向上の問題に対応している。

問 なぜ、四小四中、各学校が一度に連携教育をしなかったのか。

答 小中連携のそれぞれのよさや成果については、全体で共有して、校区で取り入れられるところがあれば、教育実践に生かしている。

問 昨年度の3月議会から、令和4年度の望ましい学校づくり審議会答申の結果はどうなったのか。

答 平成24年度と同審議会では、小学校は複式学級が10人以下、または全校児童が30人以下になった場合、中学校は1学年15人以下、または全

校生徒が45人以下になった場合、再編・統廃合を検討するとの答申がなされている。

答申内容は、別府中学校の生徒は、1・3学年が15人で全校生徒52人、令和9年度には74人と増加傾向にある。現段階では幼保・小・中の連携を活かした校区の教育環境の下で継続していくのが望ましいと考える。

問 「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」に書いてある、義務教育は何かを含めて審議しているのか疑問を感じる。検討対象になる資料は、審議会に配付なり、委員の方々に提示されているのか。

答 第一回目の審議会では、今後の児童生徒数の動向や他市の状況、情報は、望ましい学校づくりの視点、市民アンケートの実施などについての観点から答申がなされている。

令和5年度 南薩地区市議会議長会 議員研修会を開催



～演題～
地域で支える子育て支援
～自然花の活動で見えてきたこと～

～講師～
「NPO法人子育てふれあいグループ自然花」
理事長 大脇 治樹 氏



8月23日に、サン・フレッシュ枕崎において、「NPO法人子育てふれあいグループ自然花」理事長の大脇治樹氏を講師としてお迎えし、研修会が開催され、南薩地区の市議会議員及び事務局職員合わせて73名が参加しました。

所管事務調査報告

■産業厚生委員会の所管事務調査を8月18日に行いました。
調査結果について主な点の報告は次のとおりです。

○サツマイモ基腐病の状況について

問 サツマイモの新品種「みちしずく」の苗は何割程度の農家が植付けしているのか、また、今後の普及はどのように考えているか。

答 基腐病に強いといわれている「みちしずく」は、焼酎用の原材料として酒造会社が苗を提供し栽培されており、市内で10戸から20戸程度の農家が植付けしている。
また、プロジェクトチームは南薩地域での令和6年作として、令和5年度の10倍、1,000町歩の植付けを目標に掲げている。



○木質バイオマスエネルギー合同会社における未利用材の利用状況について

問 発電所から排出される灰は活用できないか。

答 昨年行ったバイオマスエネルギーと市の関係課との勉強会のなかで、バイオマスエネルギーは、肥料に混ぜ込む等何らかの活用ができないかと考えているが、まだ研究が進んでいない。市としては、バイオマスエネルギーで研究を行ってもらい、その結果を踏まえ用途と一緒に検討していきたい。



○枕崎市漁業協同組合第三冷蔵庫について

問 第三冷蔵庫が稼働したことによる合理化・効率化について

答 漁港の冷蔵容量が大幅に向上し、海外まき網船や青物のまき網船の誘致をしやすくなり、漁港全体の機能向上が図られた。



○水流・山下集落の排水ポンプの運用状況について

問 水流・山下集落の排水ポンプは3基設置しているが間に合うか。

答 河川が改修され、また山下地区もある程度排水路を大きくしているため3基で対応できると考えている。



○片平山配水池の管理状況について

問 片平山配水池には今後の整備計画があるか。

答 配水池としての整備については終わっているが、第3・第4配水池跡地の利用についての課題がある。



○片平山児童センターの管理状況について

問 外壁を整備することのだが、内部も充実させられないか。

答 県に要望している整備については、外壁や施設内部の整備も含まれているが、施設の老朽化により、雨天時に染み出した水が階段部分にたまったり、アリの進入を防ぐなどの課題があるため、外壁などを整備して気密性を高める必要がある。
また、遊具の更新については、一般財源による整備となるため、庁内で協議しながら子育て世代や子供たちが使い勝手のいい施設になるようにしていきたい。



令和5年度 市民と市議会との意見交換会を開催

テーマ 枕崎の人口問題について考えよう！
～安心して住める夢のある「枕崎」を目指して～

日時 令和5年10月27日（金） 午後7時～

場所 市民会館第1会議室

枕崎市議会では、市民の皆さんの声を反映させる開かれた議会に努め、市勢の発展と住民福祉の向上に資することを目的として「議会基本条例」を制定しています。

この目的を実現していくため、10月27日に「市民と市議会との意見交換会」を開催しました。

今回の意見交換会は、従来の方法を見直し、市民の皆さんの枕崎に対する思いやご意見をより多くお聞きできるよう、進行役の上村ひさみ氏のもと、ワークショップ形式で実施しました。



市民の皆さんから頂いた、本市に対する思いを今後の政策に反映できるよう議会活動に努めてまいります。

※今回の意見交換会の結果は、枕崎市議会ホームページ(令和6年1月上旬)と議会だより3月号にて掲載いたします。

全国市議会議長会研究フォーラム in北九州

議員のなり手不足問題への取組報告
無投票選挙の克服を目指した4年間の歩み



10月25日、26日に開催された全国市議会議長会研究フォーラムin北九州において、枕崎市議会の代表として永野慶一郎議長が「議員のなり手不足問題への取組報告 無投票選挙の克服を目指した4年間の歩み」として登壇しました。

市民からの議員定数の見直しを求める陳情を受け、議員定数等調査特別委員会を設置し、議員定数を14名から12名に減らし無投票選挙を回避したことや、今後さらに若い世代に関心を持ってもらうためにYoutubeでの議会中継やSNS等での情報発信を行い、なり手の発掘を目指していくと事例報告を行い、最後は、生まれて良かった、住んで良かった枕崎になるようにと議長自身の枕崎市への思いを語り、事例報告を締めくくりました。

議会を傍聴・視聴してみませんか

★定例会は、3月、6月、9月、12月に行われています。

議会では市の予算・決算、条例制定をはじめ、皆さんの生活に関わりのあることが議論されています。

本会議及び委員会は、原則として一般に公開されており、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、3階傍聴席入口に置いてある傍聴券に氏名等を記入し、箱に投函してから入場してください。

議会インターネット中継

★定例会・臨時会の本会議の様子は、インターネット動画配信サイト(Youtube)で生配信・録画配信を行っています。

詳しくは枕崎市議会ホームページを御覧ください。

枕崎市議会Youtubeチャンネルはこちら



「枕崎市議会だより」の表紙写真募集

枕崎市議会だよりは、年4回(6月・9月・12月・3月)発行しています。

議会報調査特別委員会では、より市民に親しまれる市議会だよりにするため、表紙の写真を次のとおり募集します。お気軽にご応募ください。

応募方法

住所・氏名・電話番号・撮影場所・撮影日時・写真のタイトルを記入の上、議会事務局へメール、または郵送もしくは持参してください。

応募条件

- ・被写体が人物または個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人(未成年者の場合は保護者)または所有者の承諾を得てください。
- ・採用作品の著作権は、本市議会に帰属するものとします。
- ・ご応募いただいた写真等は原則返却いたしませんので、ご了承ください。

お問合せ

議会事務局(議会報調査特別委員会)
住所:〒898-8501 枕崎市千代田町27
電話:0993-72-1111
メール:giji3@city.makurazaki.lg.jp



▲赤い花のソバ 高嶺ルビー



▲レインボーマム

議会報調査特別委員会
委員長 平田るり子
副委員長 水野正子
委員 豊留榮子
委員 上迫幸子
委員 眞正美
委員 橋口洋一

この先、地球は気候変動で春と秋の季節が消滅してしまい、一年が夏と冬の季節だけになる時代がやってくるという信じられないことが起きると言われています。

春は、夢と希望に満ちた卒業式、入学式等々。また、秋の澄み切った空は人の心を優しく満たしてくれる大切な四季。

人は自然に癒されながら何事にもめげずに生きている。いつまでも落ち着いた日々を過ごせるよう、暮らして希望を持ち続けられる社会を目指して頑張りましょう。

(豊留榮子)

編集後記



枕崎市議会の詳しい情報は、「枕崎市議会のホームページ」をご覧ください。
<https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/gikai/>

枕崎市議会